

構造設計Ⅲ

第1回 振動理論の重要性

構造設計における構造計算の方法

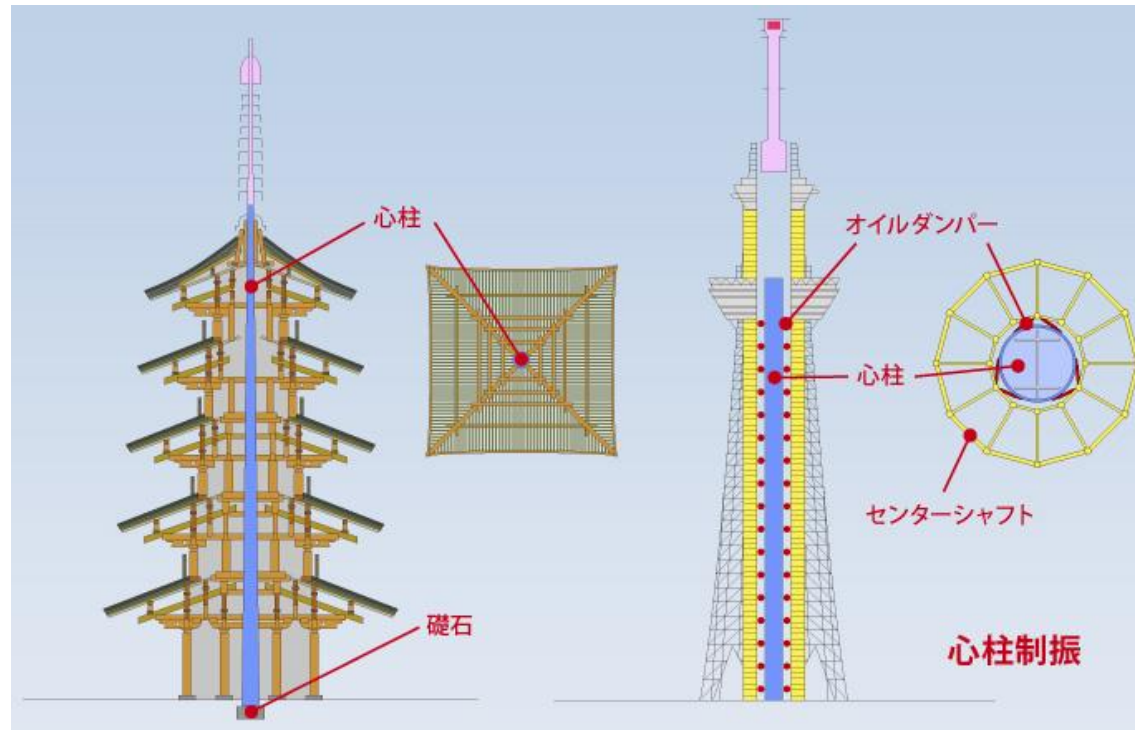
- 許容応力度等計算(1981年～)
 - 耐震構造の設計が可能
 - 制震構造、免震構造の設計は不可
- 限界耐力計算(2000年～)
 - 制震構造、免震構造の設計が可能
 - 耐震構造の設計も可能

➡ 振動理論がわからなければチンプンカンプン



制震・免震の必要性

- これからは、制震・免震構造が解らなければ、建築技術者として生きて行けない。



耐震設計では振動学は必要ない？

- 地震力に対する設計にも、振動理論の基礎知識は必要.
- 地震力(地震層せん断力)の計算法については、構造設計 I・同演習である程度学んでいる.
- 構造設計 IIIでは、構造設計 I・同演習で学んだことを復習しつつ、限界耐力計算法の概要について学ぶ.